

4 生活問題とくらしの単位としての世帯

生活問題はくらしの単位としての世帯に特徴があらわれる。ここでは、世帯構成別、あるいは介護の必要な家族のいる世帯や子どものいる世帯別にくらしの実態をみてみる。

(1) 世帯の変化（表Ⅱ-55、表Ⅱ-56、表Ⅱ-57、表Ⅱ-58、表Ⅱ-59、表Ⅱ-60）

世帯構成は全体として「夫婦と子」29.2%、「夫婦のみ」26.4%が高い。「単身」世帯は16.9%、「三世帯」が15.4%である。2005年の国勢調査では、「夫婦と未婚の子」と「単身」の割合がそれぞれ3割弱とほぼ拮抗している。南丹市全体（表Ⅱ-47）では、「単身」が最も多く27.5%、次いで「夫婦と子」が24.7%と続いている。南丹市平均と全国平均を比較してみると南丹市では「三世帯」の割合が高いのが特徴であろう。年次推移からみると、全国的にも南丹市においても、今後「三世帯」が減少し「単身」が増加していくことは間違いないであろう。

表Ⅱ-55 性別年齢別世帯構成

	合計	三世帯	夫婦と子	夫婦と親	一人親と子	夫婦のみ	単身	その他
総数	100% 823	15.4 127	29.2 240	5.6 46	5.7 47	26.4 217	16.9 139	0.9 7
男性	100% 683	17.4 119	34.0 232	6.4 44	3.5 24	30.7 210	7.2 49	0.7 5
25歳未満	100% 8		12.5 1			12.5 1	75.0 6	
25歳～34歳	100% 31	6.5 2	64.5 20		3.2 1	12.9 4	12.9 4	
35歳～44歳	100% 85	11.8 10	64.7 55		4.7 4	9.4 8	9.4 8	
45歳～54歳	100% 131	29.8 39	47.3 62	3.8 5	5.3 7	9.2 12	3.8 5	0.8 1
55歳～64歳	100% 184	19.0 35	26.6 49	16.8 31	3.8 7	26.6 49	6.0 11	1.1 2
65歳～74歳	100% 112	17.0 19	24.1 27	5.4 6	0.9 1	49.1 55	2.7 3	0.9 1
75歳以上	100% 132	10.6 14	13.6 18	1.5 2	3.0 4	61.4 81	9.1 12	0.8 1
女性	100% 140	5.7 8	5.7 8	1.4 2	16.4 23	5.0 7	64.3 90	1.4 2
25歳～34歳	100% 1					100.0 1		
35歳～44歳	100% 10	20.0 2	50.0 5		20.0 2	10.0 1		
45歳～54歳	100% 9	11.1 1	11.1 1		44.4 4	11.1 1	22.2 2	
55歳～64歳	100% 18	5.6 1	5.6 1	5.6 1	38.9 7	5.6 1	38.9 7	
65歳～74歳	100% 31	9.7 3	3.2 1		25.8 8	9.7 3	48.4 15	3.2 1
75歳以上	100% 71	1.4 1		1.4 1	2.8 2		93.0 66	1.4 1

今回調査の結果では「単身」の世帯が南丹市平均よりやや低く「夫婦のみ」「三世帯」「夫婦と子」の割合が高めとなっている。

年齢別に世帯の変化をみると、ライフサイクルと世帯の変化があらわれている。年齢が高くなれば「夫婦のみ」「単身」が合計値に比べ高い割合となっていく傾向がでている。また、特に女性で高齢「単身」の傾向が明確に出ていること、「一人親と子」の割合が多く年齢で高い割合となっているなどの特徴がある。

世帯構成別に介護の必要な家族と介護者についてみてみると、「三世帯」「夫婦と親」の世帯で、「介護の必要な家族がいる」の割合が高く、また、それぞれ「同居している」割合も高い。主な介護者は「三世帯」では「配偶者」、「夫婦と子」では、「未婚の子ども」「父親」「母親」、「夫婦と親」では「配偶者」と「子どもの配偶者」、「一人親と子」では「生計中心者」「未婚の子ども」、「夫婦のみ」では「生計中心者」、「単身」では「結婚している子ども」の割合が合計値より高い。

表Ⅱ-56 世帯構成別にみた介護の必要な家族と介護者の状況

	総数	介護の必要な家族はない	介護の必要な家族がいる 生計中心者（単身者は自分自身）	介護の必要な家族がいる 配偶者	未婚の子ども	父親	母親	きょうだい	孫	その他
合計	100% 823	(83.7) 689	(16.3) 134	17.9 24	12.7 17	5.2 7	17.2 23	37.3 50	2.2 3	2.2 3
三世帯	100% 127	(70.9) 90	(29.1) 37	2.7 1	5.4 2	8.1 3	29.7 11	54.1 20	2.7 1	8.1 3
夫婦と子	100% 240	(93.3) 224	(6.7) 16	12.5 2	6.3 1	18.8 3	25.0 4	31.3 5		
夫婦と親	100% 46	(56.5) 26	(43.5) 20	5.0 1	5.0 1		5.0 1	90.0 18		5.0 1
一人親と子	100% 47	(89.4) 42	(10.6) 5	20.0 1		20.0 1	20.0 1	20.0 1	20.0 1	
夫婦のみ	100% 217	(87.6) 190	(12.4) 27	25.9 7	44.4 12		18.5 5	14.8 4		
単身	100% 139	(79.9) 111	(20.1) 28	42.9 12	3.6 1		3.6 1	7.1 2		
その他	100% 7	(85.7) 6	(14.3) 1					100.0 1		

表Ⅱ-57 世帯構成別にみた介護の必要な家族の所在

	総数	介護の必要な家族はない	介護の必要な家族がいる	所在					
				独居	同居している(単身は)	入院している	入所している	近所に住んでいる	その他
合 計	100% 823	(83.7) 689	(16.3) 134	67.9 91	5.2 7	11.9 16	6.0 8	1.5 2	
三 世 帯	100% 127	(70.9) 90	(29.1) 37	86.5 32	10.8 4	8.1 3			
夫 婦 と 子	100% 240	(93.3) 224	(6.7) 16	43.8 7	12.5 2	18.8 3	12.5 2	12.5 2	
夫 婦 と 親	100% 46	(56.5) 26	(43.5) 20	85.0 17	5.0 1	5.0 1	5.0 1		
一 人 親 と 子	100% 47	(89.4) 42	(10.6) 5	80.0 4			20.0 1		
夫 婦 のみ	100% 217	(87.6) 190	(12.4) 27	66.7 18		22.2 6	11.1 3		
单 身	100% 139	(79.9) 111	(20.1) 28	42.9 12		10.7 3	3.6 1		
そ の 他	100% 7	(85.7) 6	(14.3) 1	100.0 1					

表Ⅱ-58 世帯構成別にみた介護者

	総数	ない介護の必要な家族はない	いる介護の必要な家族がいる	介護者の役割									
				生計中心者	配偶者	未婚の子ども	結婚している子ども	子どもの配偶者	父親	母親	きょうだい	孫	介護職など
合 計	100% 823	(83.7) 689	(16.3) 134	29.1 39	40.3 54	3.0 4	2.2 3	2.2 3	2.2 3	3.7 5	0.7 1	1.5 2	20.9 28
三 世 帯	100% 127	(70.9) 90	(29.1) 37	16.2 6	67.6 25	5.4 2	2.7 1	2.7 1	5.4 2	5.4 2		2.7 1	10.8 4
夫 婦 と 子	100% 240	(93.3) 224	(6.7) 16	31.3 5	25.0 4	6.3 1			6.3 1	12.5 2			18.8 3
夫 婦 と 親	100% 46	(56.5) 26	(43.5) 20	25.0 5	75.0 15			5.0 1					15.0 3
一 人 親 と 子	100% 47	(89.4) 42	(10.6) 5	60.0 3	20.0 1				20.0 1				
夫 婦 のみ	100% 217	(87.6) 190	(12.4) 27	55.6 15	37.0 10					3.7 1		22.2 6	
单 身	100% 139	(79.9) 111	(20.1) 28	14.3 4		7.1 2	3.6 1			3.6 1	42.9 12		
そ の 他	100% 7	(85.7) 6	(14.3) 1	100.0 1									

表Ⅱ-59 全国の世帯構成別世帯数の年次推移

世帯構成 年次	総数	三世代	夫婦と未婚の子	夫婦と親	の子ひとり親と未婚	夫婦のみ	夫婦のみ	単身	その他
1975年	100% 33,596	11.9 3,982	42.5 14,290	1.5 500	5.4 1,810	11.5 3,880	19.5 6,561	7.5 2,504	
1980年	100% 35,824	12.2 4,370	42.1 15,081	1.7 608	5.7 2,053	12.4 4,460	19.8 7,105	5.8 2,084	
1985年	100% 37,980	11.9 4,506	40.0 15,189	1.8 683	6.3 2,403	13.7 5,212	20.8 7,895	5.3 2,019	
1990年	100% 40,670	10.6 4,301	37.3 15,172	1.9 767	6.8 2,753	15.5 6,294	23.1 9,390	2.8 1,149	
1995年	100% 43,900	9.2 4,045	34.2 15,032	2.0 865	7.1 3,108	17.4 7,619	25.6 11,239	4.0 1,774	
2000年	100% 46,782	7.5 3,526	31.9 14,919	2.0 937	7.6 3,578	18.9 8,835	27.6 12,911	4.0 1,884	
2005年	100% 49,063	6.1 3,004	29.9 14,646	2.0 985	8.4 4,112	19.6 9,637	29.5 14,457	4.0 1,954	

総務省「国勢調査」

表Ⅱ-60 南丹市におけるくらしの単位である世帯構成別世帯数の年次推移

年	町名	総数	三世帯	夫婦と子	夫婦と親	片親と子	夫婦のみ	の夫親族と他	単身	その他
1995年	南丹市合計	100% 11,605	19.1 2,214	25.0 2,897	4.3 502	5.5 638	17.4 2,016	4.6 534	22.7 2,634	1.5 170
		100% 12,292	15.9 1,954	24.3 2,990	4.1 499	5.9 727	18.7 2,304	3.7 457	25.7 3,155	1.7 206
		100% 12,369	12.8 1,586	24.7 3,049	4.1 507	6.1 749	19.3 2,392	3.6 446	27.5 3,401	1.9 239
2000年	園部町	100% 5,172	16.1 831	27.8 1,440	2.9 149	5.7 293	14.2 737	4.1 211	28.0 1,447	1.2 64
		100% 5,780	12.9 744	26.5 1,533	2.6 152	5.7 328	15.2 879	3.1 178	32.7 1,890	1.3 76
		100% 5,847	10.7 623	27.3 1,597	2.8 162	6.0 350	15.4 900	3.2 188	32.8 1,918	1.9 109
2005年	八木町	100% 2,810	23.9 672	26.3 738	4.1 115	5.5 155	15.9 446	5.3 149	17.4 488	1.7 47
		100% 2,782	20.9 582	24.6 685	4.4 122	6.3 176	18.2 506	4.6 129	18.6 518	2.3 64
		100% 2,792	16.8 468	23.4 652	4.2 117	6.4 180	19.8 553	4.8 134	22.7 633	2.0 55
1995年	日吉町	100% 1,889	19.5 368	24.4 460	5.2 99	5.7 107	19.8 374	5.0 95	18.7 354	1.7 32
		100% 2,007	16.7 336	24.3 487	5.1 102	6.7 134	21.3 428	4.2 84	19.8 397	1.9 39
		100% 2,029	12.6 255	25.1 510	5.0 101	6.7 135	21.2 431	3.8 77	23.3 473	2.3 47
2000年	美山町	100% 1,734	19.8 343	14.9 259	8.0 139	4.8 83	26.5 459	4.6 79	19.9 345	1.6 27
		100% 1,723	16.9 292	16.5 285	7.1 123	5.2 89	28.5 491	3.8 66	20.3 350	1.6 27
		100% 1,701	14.1 240	17.0 290	7.5 127	4.9 84	29.9 508	2.8 47	22.2 377	1.6 28
2005年	南丹市合計	104.5	71.0	105.5	101.0	115.7	118.0	79.9	126.3	137.8
	八木町	99.4	69.6							

(2) くらしの面での困りごと (表Ⅱ-61)

困りごとが「ある」と回答している割合が高いのは、「三世帯」「夫婦と親」「夫婦のみ」の世帯である。

「三世帯」では、「自由な時間や休日がない」「就職が困難」「失業や事業の不振」「働き手の死亡」「労働時間が長い」などの仕事に関する内容をはじめ、「税金が高い」「物価が高い」「災害時の備え」などのくらしの基盤にかかる項目が合計値より高い割合のものが多い。「夫婦と子」の世帯では、困りごとが「ない」という割合が合計値に比べ高いものの、困りごとの具体的な内容では「病人や老人・障がい者の介護」「貯金ができない」「借金・ローンの返済」「家計の赤字」「子どもの教育・進学」「子育てのこと」といったくらしの中身に関する項目に合計値より高い割合のものが多い。「一人親と子」の世帯では、「収入が不安定」「賃金・事業収入が低い」「就職が困難」「税金が高い」「移動が困難」といったくらしの基盤に関する困難、「地域での共同作業に出るのが難しい」といったくらしを支える条件に関する内容、国・自治体による社会保障・社会福祉では「保険料(税)が高い」、くらしの中身に関しては「家計の赤字」「結婚がむずかしい」など深刻な状況となっている。「単身」では、困りごとは「ない」という回答が

合計値に比べ高いものの「通院が困難」「相談相手がない」「老後のこと」「年金が少ない」といった内容が合計値より高い割合としてあらわれており、厳しい状況である。

介護の必要な家族のいる世帯におけるくらしの面での困りごとでは、いずれの世帯においても困りごとが「ある」という割合が高く、特に「夫婦のみ」の世帯においては96.3%が「ある」としている。いずれの世帯においても「移動が困難」「家族の病気・事故」「病人や老人・障がい者の介護」は高い割合である。加えて、「夫婦のみ」の世帯では「地域の共同作業に出るのがむずかしい」「近所づきあいがむずかしい」「相談相手がない」などくらしを支える条件の項目が高い割合のものが多い。「単身」の世帯では、「ある」が100%であり、「相談相手がない」が高い割合となっている。

「小学生以下の子どもいる世帯」においては、「子どもの通学・通園」「移動が困難」といった項目や「地域の共同作業に出のがむずかしい」「貯金ができない」「借金・ローンの返済」「子どもの教育・進学」「子育てのこと」が合計値より高い。

以上のように、生活問題はくらしの単位である世帯の状況によってあらわれ方が違ってくる。

表Ⅱ-61 世帯構成別にみたくらしの面での困りごと(複数回答)

	総数	ない	ある	くらしの基盤															
				収入が不安定	賃金・事業収入が低い	自由な時間や休日が少ない	通勤に時間がかかる	働き手の死亡	就職が困難	しごとの後継者がない	失業や事業の不振	労働時間が長い	税金が高い	物価が高い	災害時のそなえ	通院が困難	安心してかかる医療機関が近く	子どもの通学・通園	移動が困難
合 計	100%	(25.0)	(75.0)	17.5	13.3	7.6	7.5	6.8	6.5	6.0	5.0	4.4	22.2	13.8	13.3	19.9	16.5	5.3	2.8
	823	206	617	108	82	47	46	42	40	37	31	27	137	85	82	123	102	33	17
三 世 帯	100%	(21.3)	(78.7)	15.0	9.0	13.0	3.0	12.0	4.0	10.0	8.0	9.0	30.0	20.0	22.0	15.0	13.0	7.0	
	127	27	100	15	9	13	3	12	4	10	8	9	30	20	22	15	13	7	
夫 婦 と 子	100%	(30.4)	(69.6)	21.0	19.2	9.6	10.8	6.6	7.8	9.0	4.2	4.8	21.6	10.8	6.6	14.4	13.8	12.6	2.4
	240	73	167	35	32	16	18	11	13	15	7	8	36	18	11	24	23	21	4
夫 婦 と 親	100%	(19.6)	(80.4)	21.6	13.5	16.2	2.7	2.7	5.4	2.7	2.7		16.2	8.1	29.7	16.2	13.5		2.7
	46	9	37	8	5	6	1	1	2	1	1		6	3	11	6	5		1
一 人 親 と 子	100%	(25.5)	(74.5)	25.7	25.7	2.9	5.7	20.0	5.7	8.6	2.9	2.9	25.7	14.3	2.9	20.0	14.3	2.9	11.4
	47	12	35	9	9	1	2	7	2	3	1	1	9	5	1	7	5	1	4
夫 婦 のみ	100%	(20.3)	(79.7)	15.6	11.6	4.6	11.0	4.0	8.7	3.5	8.1	4.0	23.1	14.5	9.8	24.9	25.4	2.3	2.3
	217	44	173	27	20	8	19	7	15	6	14	7	40	25	17	43	44	4	4
单 身	100%	(28.8)	(71.2)	14.1	7.1	3.0	3.0	3.0	4.0	2.0		2.0	15.2	13.1	2.0	26.3	12.1		4.0
	139	40	99	14	7	3	3	3	4	2		2	15	13	2	26	12		4
そ の 他	100%	(14.3)	(85.7)						16.7				16.7	16.7		33.3			
	7	1	6						1				1	1		2			

	くらしを支える条件	国・自治体による社会保障・社会福祉										くらしの中身									
		地域での共同作業に出のがむずかしい	近所づきあいがむずかしい	家庭での対話を少ない	相談相手がない	老後のこと	年金が少ない	保険料(税)が高い	医療費が高い	入院費用がかかる	生計中心者の病気・事故	家族の病気・事故	病人や老人・障がい者の介護	貯金ができない	借金・ローンの返済	家計の赤字	子どもの教育・進学	子育てのこと	結婚が難しい	住まいのこと	食生活のこと
7.8	6.5	4.4	3.6	32.3	25.9	20.6	15.9	6.2	28.2	23.2	10.4	21.2	11.3	9.6	8.8	6.0	6.5	4.5	4.5	4.2	1.9
48	40	27	22	199	160	127	98	38	174	143	64	131	70	59	54	37	40	28	26	12	
6.0	6.0	4.0	4.0	34.0	24.0	29.0	14.0	9.0	26.0	27.0	19.0	24.0	11.0	9.0	18.0	8.0	6.0	2.0	4.0	1.0	
6	6	4	4	34	24	29	14	9	26	27	19	24	11	9	18	8	6	2	4	1	
6.0	3.6	3.0	1.2	25.1	14.4	18.6	10.8	4.8	25.7	22.8	16.8	24.6	18.6	13.2	19.2	14.4	10.8	4.8	2.4	3.6	
10	6	5	2	42	24	31	18	8	43	38	28	41	31	22	32	24	18	8	4	6	
2.7		5.4		37.8	32.4	18.9	8.1			18.9	24.3	8.1	24.3	5.4	5.4		5.4		2.7	2.7	
1		2		14	12	7	3			7	9	3	9	2	2		2		1	1	
14.3	5.7	5.7		31.4	28.6	28.6	11.4	5.7	17.1	25.7	11.4	17.1	5.7	14.3		2.9	17.1		5.7	5.7	2.9
5	2	2		11	10	10	4	2	6	9	4	6	2	5		1	6		2	2	1
9.8	9.8	4.6	4.6	41.0	32.4	20.2	15.6	8.7	35.3	32.4	19.1	23.1	11.6	9.8	2.3	2.3	2.9	6.9	3.5	2.9	
17	17	8	8	71	56	35	27	15	61	56	33	40	20	17	4	4	5	12	12	6	5
9.1	9.1	6.1	8.1	25.3	33.3	15.2	16.2	4.0	30.3	2.0	11.1	11.1	4.0	4.0			3.0	5.1	4.0	6.1	5.1
9	9	6	8	25	33	15	16	4	30	2	11	11	4	4			3	5	4	6	5
				33.3	16.7				16.7	33.3								16.7	16.7	16.7	
				2	1				1	2								1	1	1	

(3) くらしの基盤 (表Ⅱ-62、表Ⅱ-63、表Ⅱ-64)

では、次に世帯構成ごとにくらしの基盤をみる。

まず、世帯構成別に階層構成をみてみると、「三世帯」で最も多いのは「自営業者層」で37%である。また、「ホワイトカラー層」「不安定雇用者層」「自営業者層」などが合計値より高い割合となっている。「夫婦と子」でも「自営業者層」が最も多く30.8%を占めている。合計値に比べ割合が高いのは「ホワイトカラー層」「ブルーカラー層」「自営業者層」である。「夫婦と親」でも「自営業者層」が多く30.4%である。合計値と比較して高いのは「経営者層」「不安定雇用者層」「自営業者層」である。「夫婦のみ」「単身」については「無業者層」が高い割合となっており、特に「単身」における「無業者層」占める割合は約7割を占めている。

収入源をみると、「三世帯」では「生計中心者と家族の仕事」「家族の仕事と年金」といった項目が高い割合である。「夫婦と子」では「生計中心者と家族の仕事」「生計中心者の仕事のみ」、「夫婦と親」では「生計中心者と家族の仕事」が高い割合となっている。これは、就業者の構成からも明らかなように「三世帯」や「夫婦と子」の世帯では、働いている家族が多く、くらしが世帯の構成によって力を合わせて営まれている状況をあらわしている。一方「一人親と子」「単身」では、収入源が「生計中心者の仕事のみ」あるいはそれにくわえて年金の割合が高くなっている。特に「単身」では就業者でも「働いている人はいない」割合が7割弱を占めているなど、くらしの基盤が脆弱な状況となっている。

表Ⅱ-63 世帯構成別にみた収入源（類型）

	総数	生計中心者の仕事のみ	生計中心者と家族の仕事	家族の仕事と年金	主に厚生年金	主に国民年金（生活保護）	生活保護	その他
総数	100% 823	22.6 186	44.6 367	8.4 69	9.6 79	12.6 104	1.1 9	1.1 9
三世帯	100% 127	7.9 10	76.4 97	13.4 17	1.6 2	0.8 1		
夫婦と子	100% 240	26.7 64	62.9 151	8.3 20	0.4 1	1.3 3		0.4 1
夫婦と親	100% 46	13.0 6	67.4 31	8.7 4	6.5 3	4.3 2		
一人親と子	100% 47	29.8 14	36.2 17	19.1 9	4.3 2	6.4 3	2.1 1	2.1 1
夫婦のみ	100% 217	23.0 50	31.8 69	7.8 17	18.9 41	18.4 40		
単身	100% 139	30.2 42			21.6 30	37.4 52	5.8 8	5.0 7
その他	100% 7		28.6 2	28.6 2		42.9 3		

表Ⅱ-62 世帯構成別にみた階層構成

	合計	経営者層	ホワイトカラー層	ブルーカラー層	不安定雇用者層	自営業者層	無業者層
総数	100% 823	3.5 29	13.7 113	9.1 75	14.7 121	27.0 222	32.0 263
三世帯	100% 127	2.4 3	21.3 27	6.3 8	18.1 23	37.0 47	15.0 19
夫婦と子	100% 240	4.2 10	22.1 53	18.3 44	14.6 35	30.8 74	10.0 24
夫婦と親	100% 46	6.5 3	13.0 6	10.9 5	21.7 10	30.4 14	34.8 16
一人親と子	100% 47	2.1 1	14.9 7	4.3 2	14.9 7	29.8 14	34.0 16
夫婦のみ	100% 217	5.5 12	7.4 16	5.1 11	12.9 28	24.9 54	44.2 96
単身	100% 139		2.9 4	3.6 5	12.2 17	12.9 18	68.3 95
その他	100% 7				14.3 1	14.3 1	71.4 5

表Ⅱ-64 世帯構成別にみた就業者の構成（類型）

	総数	生計中心者のみ	生計中心者と配偶者	生計中心者と配偶者と子	生計中心者と配偶者と子ども	生計中心者と配偶者と親	生計中心者と配偶者と親や兄弟	生計中心者と子、親や兄弟	働いている人はいない
総数	100% 823	22.8 188	28.1 231	8.4 69	11.0 91	3.2 26	2.4 20	24.1 198	
三世帯	100% 127	7.9 10	23.6 30	19.7 25	19.7 25	17.3 22	9.4 12	2.4 3	
夫婦と子	100% 240	26.7 64	35.4 85	17.9 43	16.3 39		1.7 4	2.1 5	
夫婦と親	100% 46	13.0 6	65.2 30		2.2 1	8.7 4		10.9 5	
一人親と子	100% 47	29.8 14		2.1 1	55.3 26			12.8 6	
夫婦のみ	100% 217	23.0 50	39.6 86					37.3 81	
単身	100% 139	31.7 44						68.3 95	
その他	100% 7						57.1 4	42.9 3	

(4) くらしを支える条件（表Ⅱ-65、表Ⅱ-66、表Ⅱ-67）

近所づきあいでは「三世帯」と「夫婦と親」で「くらしのことで助け合っている」の割合が合計値より高く、「夫婦と子」では「挨拶をする程度」が高い割合となっている。一方、「単身」は「ほとんどつきあっていない」の割合が合計値に比べ高いが、「困りごとや悩み事を相談しあう」「家にあがりこんでつきあいをしている」といった項目も高く、近所とのつきあいは二分されている。「夫婦と親」「夫婦のみ」ではくらしのことで助け合っている項目が合計値より高い割合のものも多く、「一人親と子」では「緊急時の連絡や援助」といった、いざというときのつきあいとなっているのが特徴的である。

相談相手では、「三世帯」でいると回答している割合が96.1%と高いが「一人親と子」の世帯では「いない」と回答している割合が合計値に比べ高い。また、相談相手の内容としては「三世帯」「夫婦と親」では「身内と知人・友人」など広がりがあるが、「夫婦と子」「一人親と子」「夫婦のみ」の世帯では、「身内のみ」の類型が高い割合を

占めている。特に「一人親と子」は半数以上が「身内のみ」の類型である。一方、「単身」では「身内と地域の方や専門職など」の類型が高い。

地域活動では近所づきあいと同じく「三世帯」と「夫婦と親」では「参加している」の割合が合計値より高く、「単身」では「参加していない」の割合が相対的に高い。「一人親と子」「夫婦のみ」「単身」では「町内会のみ」の類型の割合が高く、「三世帯」「夫婦と子」では「老人クラブや青年会・女性会や子ども会・P T Aなど」の類型が割合となっている。「夫婦と親」では「ボランティアやN P Oなど」「くらしに関する学習会など」の割合が高く活動への参加に広がりがある。なお「単身」で「生協・業者団体」が高いのは、宅配の影響である。

このように「三世帯」や「夫婦と親」の世帯では近所づきあいや地域活動、相談相手など、地域での交流や協同・協力が幅広く展開されている。一方、「夫婦と子」「一人親と子」「夫婦のみ」「単身」では交流に広がりがない。

表Ⅱ-65 世帯構成別にみた近所づきあい（助け合っている内容は複数回答）

	総数	ほとんどつきあっていない	挨拶をする程度	くらしのことで助け合っている	冠婚葬祭や病人の見舞い	自分の家でつくったものをわけあう	困りごとや悩みを相談し合う	緊急時の連絡や援助	家にあがりこんでつきあいをしている	お年寄りの話し相手	留守を頼む	買い物を引き受ける	お年寄りや子どもの世話を頼む	送迎・乗り合い
総数	100%	(3.0)	(31.6)	(65.4)	99.8	61.9	48.1	40.5	38.8	26.0	24.5	16.7	9.7	1.5
	823	25	260	538	537	333	259	218	209	140	132	90	52	8
三世帯	100%	(1.6)	(22.0)	(76.4)	100.0	63.9	45.4	41.2	40.2	27.8	24.7	16.5	13.4	
	127	2	28	97	97	62	44	40	39	27	24	16	13	
夫婦と子	100%	(0.8)	(40.4)	(58.8)	99.3	50.4	46.1	36.9	36.2	17.0	17.0	13.5	13.5	1.4
	240	2	97	141	140	71	65	52	51	24	24	19	19	2
夫婦と親	100%	(2.2)	(23.9)	(73.9)	100.0	73.5	50.0	52.9	38.2	41.2	41.2	17.6	8.8	
	46	1	11	34	34	25	17	18	13	14	14	6	3	
一人親と子	100%	(4.3)	(29.8)	(66.0)	100.0	61.3	38.7	45.2	38.7	19.4	25.8	19.4	6.5	
	47	2	14	31	31	19	12	14	12	6	8	6	2	
夫婦のみ	100%	(2.3)	(33.6)	(64.1)	100.0	73.4	49.6	46.0	35.3	30.9	31.7	20.1	8.6	2.2
	217	5	73	139	139	102	69	64	49	43	44	28	12	3
単身	100%	(9.4)	(22.3)	(68.3)	100.0	56.8	53.7	31.6	47.4	27.4	18.9	15.8	3.2	3.2
	139	13	31	95	95	54	51	30	45	26	18	15	3	3
その他	100%		(85.7)	(14.3)	100.0		100.0							
	7		6	1	1		1							

表Ⅱ-66 世帯構成別にみた相談相手

	総数	いない	いる	身内のみ	市役所や専門職のみ	身内と知人・友人	身内と地域の方や専門職など
総数	100%	(7.7)	(92.3)	38.8	5.7	28.8	26.7
	823	63	760	295	43	219	203
三世帯	100%	(3.9)	(96.1)	35.2	7.4	35.2	22.1
	127	5	122	43	9	43	27
夫婦と子	100%	(7.5)	(92.5)	43.7	2.7	31.5	22.1
	240	18	222	97	6	70	49
夫婦と親	100%	(6.5)	(93.5)	32.6	7.0	37.2	23.3
	46	3	43	14	3	16	10
一人親と子	100%	(12.8)	(87.2)	51.2	7.3	24.4	17.1
	47	6	41	21	3	10	7
夫婦のみ	100%	(8.8)	(91.2)	41.9	7.6	24.2	26.3
	217	19	198	83	15	48	52
単身	100%	(8.6)	(91.4)	27.6	4.7	23.6	44.1
	139	12	127	35	6	30	56
その他	100%		(100.0)	28.6	14.3	28.6	28.6
	7		7	2	1	2	2

表Ⅱ-67 世帯構成別にみた参加している活動（類型）

	総数	参加していない	参加している	町内会のみ	生協・業者団体	趣味・スポーツ	老人・青年・女性・子ども・PTAなど	ボランティア・NPOなど	くらしに関する学習会など
総数	100% 823	(15.6) 128	(84.4) 695	19.1 133	11.8 82	7.9 55	40.3 280	14.0 97	6.9 48
三世帯	100% 127	(5.5) 7	(94.5) 120	12.5 15	9.2 11	8.3 10	46.7 56	15.0 18	8.3 10
夫婦と子	100% 240	(16.3) 39	(83.8) 201	14.4 29	11.4 23	9.5 19	44.3 89	14.4 29	6.0 12
夫婦と親	100% 46	(6.5) 3	(93.5) 43	14.0 6	7.0 3	7.0 3	37.2 16	18.6 8	16.3 7
一人親と子	100% 47	(17.0) 8	(83.0) 39	25.6 10	12.8 5	5.1 2	30.8 12	15.4 6	10.3 4
夫婦のみ	100% 217	(14.3) 31	(85.7) 186	23.1 43	13.4 25	7.5 14	36.6 68	12.4 23	7.0 13
単身	100% 139	(26.6) 37	(73.4) 102	26.5 27	14.7 15	6.9 7	37.3 38	12.7 13	2.0 2
その他の	100% 7	(42.9) 3	(57.1) 4	75.0 3			25.0 1		

(5) 家計支出の構造があらわすくらしむき（表Ⅱ-65、表Ⅱ-66）

三世帯では、かさむものが「ある」と回答した世帯が93.7%、きりつめているものが「ある」と回答した世帯が78.7%であった。かさむものでは「主食費」「副食費」「光熱費」「水道代」「ガソリン代・車の維持費」「交際費」「電話代・通信代」「看護・介護のための費用」「教育費」「子どもや孫の養育費」「所得税などの税金」「酒・たばこ」「民間の生命保険などの掛け金」などが合計値より高い割合である。きりつめているものとしては「家具家庭用品代」「外食費」が高い割合である。「夫婦と子」の世帯でも三世帯と同じく、かさむもの、きりつめているものが共に高い割合であった。共に高い「三世帯」と比較すると、かさむものに「住宅ローン」が加わっている。また、きりつめているものには高い割合の項目が多く「主食費」「光熱費」「外食費」「娯楽費」「こづかい」などである。「一人親と子」「単身」ではかさむものが「ない」の割合が高く、さらに「単身」ではきりつめているものも「ない」とする回答が高い割合である。しかし、「一人親と子」では、かさむものの項目として「医者・薬代」といった命に関わる項目や、「公的年金や医療保険などの保険料」など「所得税などの税金」といった個人ではどうしようもない固定的出費に関わる項目が高い割合である一方、「水道代」「ガソリン代・車の維持費」「衣服・身の回りの品代」「家具・家庭用品代」などが切りつめるものとして合計値に比べ高い割合となっており、厳しい生活状況が現れている。生活に欠かせない「水道代」をきりつめているのは「単身」でも同様である。

介護の必要な家族のいる世帯では、かさむもの、きりつめるもの共に「医者・薬代」「看護・介護のための費用」、などが高い割合で現れてくるとともに、各世帯の類型では現れていなかった項目が高い割合として現れているのが特徴である。

小学生以下の子どものいる世帯でも、かさむもの、きりつめているものともに「ある」が高い割合であり、住宅に関する費用や「子や孫の養育費」が家計を圧迫している状況があきらかである。

(6) 健康状態（表Ⅱ-70）

健康状態で特徴的な点は「一人親と子」の世帯で精神的なストレスによる症状が多く現れていることである。「夫婦のみ」「単身」では身体的な疲労からくる症状の項目で高い割合のものが多い。介護が必要な家族のいる世帯では、世帯員数のすくない「夫婦のみ」「単身」で多くの項目で高い割合のものが多く、厳しい状況となっている。

表II-68 世帯構成別にみたかさむもの（複数回答）

	総数	ない	ある	主食費	副食費	光熱費	水道代	家賃・住居費	住宅ローン	(車庫の)ガソリン代	シ交通費・タク	葬祭費(冠婚)
合計	100% 823	(14.6) 120	(85.4) 703	30.7 216	28.4 200	36.7 258	21.8 153	6.1 43	18.1 127	43.4 305	6.4 45	28.6 201
三世帯	100% 127	(6.3) 8	(93.7) 119	41.2 49	39.5 47	52.1 62	32.8 39	2.5 3	15.1 18	56.3 67	3.4 4	32.8 39
介護の必要な家族がいる世帯	100% 37		(100.0) 37	37.8 14	43.2 16	43.2 16	24.3 9		8.1 3	56.8 21	8.1 3	37.8 14
夫婦と子	100% 240	(8.3) 20	(91.7) 220	35.5 78	28.6 63	36.4 80	22.7 50	7.7 17	36.8 81	45.5 100	5.5 12	16.4 36
夫婦と親	100% 46	(13.0) 6	(87.0) 40	32.5 13	27.5 11	47.5 19	20.0 8	7.5 3	5.0 2	37.5 15	5.0 2	50.0 20
介護の必要な家族がいる世帯	100% 20	(15.0) 3	(85.0) 17	29.4 5	29.4 5	58.8 10	17.6 3	5.9 1	11.8 2	41.2 7		
一人親と子	100% 47	(21.3) 10	(78.7) 37	27.0 10	27.0 10	40.5 15	27.0 10		2.7 1	40.5 15	5.4 2	29.7 11
夫婦のみ	100% 217	(17.1) 37	(82.9) 180	22.8 41	22.2 40	31.1 56	16.7 30	5.6 10	12.2 22	46.1 83	8.9 16	31.1 56
介護の必要な家族がいる世帯	100% 27	(18.5) 5	(81.5) 22	22.7 5	13.6 3	18.2 4	13.6 3	4.5 1	45.5 10	13.6 3	27.3 6	
単身	100% 139	(28.1) 39	(71.9) 100	24.0 24	28.0 28	25.0 25	15.0 15	9.0 9	3.0 3	24.0 24	8.0 8	38.0 38
介護の必要な家族がいる世帯	100% 28	(14.3) 4	(85.7) 24	33.3 8	29.2 7	29.2 7	16.7 4	12.5 3	4.2 1	16.7 4		25.0 6
その他	100% 7		(100.0) 7	14.3 1	14.3 1	14.3 1	14.3 1			14.3 1	14.3 1	
小学生以下の子どもがいる世帯	100% 56	(5.4) 3	(94.6) 53	45.3 24	26.4 14	35.8 19	22.6 12	18.9 10	49.1 26	41.5 22	1.9 1	11.3 6

表II-69 世帯構成別にみたきりつめているもの（複数回答）

	総数	ない	ある	主食費	副食費	光熱費	水道代	(車庫の)ガソリン代	シ交通費・タク	葬祭費(冠婚)
合計	100% 823	(28.8) 237	(71.2) 586	23.2 136	26.3 154	42.3 248	22.9 134	18.3 107	7.7 45	12.5 73
三世帯	100% 127	(21.3) 27	(78.7) 100	25.0 25	28.0 28	39.0 39	19.0 19	17.0 17	9.0 9	8.0 8
介護の必要な家族がいる世帯	100% 37	(24.3) 9	(75.7) 28	28.6 8	32.1 9	46.4 13	17.9 5	17.9 5	14.3 4	7.1 2
夫婦と子	100% 240	(19.2) 46	(80.8) 194	26.3 51	27.8 54	46.4 90	24.7 48	18.0 35	6.2 12	13.4 26
夫婦と親	100% 46	(32.6) 15	(67.4) 31	22.6 7	22.6 7	45.2 14	16.1 5	22.6 7	12.9 4	9.7 3
介護の必要な家族がいる世帯	100% 20	(35.0) 7	(65.0) 13	30.8 4	30.8 4	53.8 7	38.5 5	38.5 5	23.1 3	15.4 2
一人親と子	100% 47	(27.7) 13	(72.3) 34	20.6 7	23.5 8	38.2 13	29.4 10	23.5 8	8.8 3	14.7 5
夫婦のみ	100% 217	(30.9) 67	(69.1) 150	20.0 30	25.3 38	40.0 60	20.7 31	20.0 30	9.3 14	16.0 24
介護の必要な家族がいる世帯	100% 27	(33.3) 9	(66.7) 18	33.3 6	27.8 5	27.8 5	22.2 4	27.8 5	27.8 5	22.2 4
単身	100% 139	(46.8) 65	(53.2) 74	21.6 16	24.3 18	41.9 31	27.0 20	13.5 10	4.1 3	9.5 7
介護の必要な家族がいる世帯	100% 28	(57.1) 16	(42.9) 12	33.3 4	16.7 2	50.0 6	25.0 3	16.7 2	8.3 1	8.3 1
その他	100% 7	(57.1) 4	(42.9) 3		33.3 1	33.3 1				
小学生以下の子どもがいる世帯	100% 56	(23.2) 13	(76.8) 43	30.2 13	20.9 9	32.6 14	18.6 8	14.0 6		11.6 5

費電話代・通信	医者・薬代	た看護の費用	介護の費用	保険料	公的年金や年金	教育費	子どもや孫の教育費	税所得	税所得などの税	消費税	外食費	酒・タバコ代	借金の住宅ローン	外食費の借入金	農業や商業費	金の借入金	民間の生命保険	生命保険の掛け保険	その他
11.9 84	20.3 143	5.1 36	21.9 154	13.7 96	8.7 61	17.2 121	7.5 53	5.7 40	11.1 78	4.7 33	2.4 17	18.2 128	1.0 7						
17.6 21	20.2 24	9.2 11	24.4 29	26.9 32	11.8 14	20.2 24	8.4 10	5.0 6	14.3 17	5.0 6	0.8 1	28.6 34							
16.2 6	35.1 13	27.0 10	27.0 10	27.0 10	5.4 2	27.0 10	2.7 1	2.7 1	10.8 4	5.4 2	2.7 1	29.7 11							
13.2 29	17.3 38	2.7 6	16.8 37	23.2 51	15.9 35	13.2 29	7.3 16	6.8 15	12.7 28	8.6 19	2.3 5	23.2 51	1.4 3						
7.5 3	22.5 9	12.5 5	17.5 7		2.5 1	25.0 10	7.5 3	10.0 4	12.5 5	5.0 2	5.0 2	17.5 7							
11.8 2	23.5 4	29.4 5	17.6 3			23.5 4	11.8 2	23.5 4	17.6 3	5.9 1	11.8 2	23.5 4							
18.9 7	24.3 9	2.7 1	27.0 10	5.4 2	8.1 3	21.6 8	8.1 3	2.7 1	10.8 4	5.4 2	5.4 2	10.8 4							
7.2 13	26.7 48	4.4 8	27.8 50	5.6 10	4.4 8	18.9 34	10.0 18	5.0 9	10.0 18	2.2 4	3.3 6	13.9 25	1.7 3						
	27.3 6	27.3 6	18.2 4	9.1 2	9.1 2	18.2 4	4.5 1					4.5 1							
11.0 11	14.0 14	5.0 5	20.0 20	1.0 1		14.0 14	2.0 2	5.0 5	6.0 6		1.0 1	7.0 7	1.0 1						
8.3 2	25.0 6	12.5 3	16.7 4			12.5 3	4.2 1			8.3 2		4.2 1	4.2 1						
	14.3 1		14.3 1			28.6 2	14.3 1												
15.1 8	5.7 3	1.9 1	13.2 7	9.4 5	24.5 13	7.5 4	1.9 1	9.4 5	24.5 13	3.8 2		22.6 12	1.9 1						

費電話代・通信	医者・薬代	た看護の費用	介護の費用	衣服の品代	身のま	品家具・家庭用	外食費	酒・タバコ代	娛樂費	旅行費	
---------	-------	--------	-------	-------	-----	---------	-----	--------	-----	-----	--

表Ⅱ-70 世帯構成別にみた健康状態（複数回答）

	総数	ある 具合の 悪いところ が	身体的疲れによる症状									
			血圧 が高い 低い	肩・首 すじが こる	だる いや 腰が 痛い	ひざ が 痛い	ある 歯が 悪い 虫歯 が	足 が 重い だる い	あり歩 かない	る腕 や 手が しび れ	どうき や いき ぎれ	目 まい が する
合 計	100%	(75.7)	32.3	26.3	24.2	18.3	17.7	15.9	14.3	11.4	4.7	4.2
	823	623	201	164	151	114	110	99	89	71	29	26
三 世 帯	100%	(78.7)	35.0	33.0	23.0	14.0	13.0	11.0	14.0	4.0	4.0	1.0
	127	100	35	33	23	14	13	11	14	4	4	1
介護の必要な家 族がいる世帯	100%	(89.2)	48.5	27.3	27.3	18.2	9.1	12.1	15.2		6.1	2
	37	33	16	9	9	6	3	4	5			
夫 婦 と 子	100%	(65.4)	21.0	31.8	18.5	7.0	14.6	8.3	15.9	10.8	5.7	4.5
	240	157	33	50	29	11	23	13	25	17	9	7
夫 婦 と 親	100%	(76.1)	40.0	17.1	20.0	5.7	22.9	5.7	11.4	14.3		
	46	35	14	6	7	2	8	2	4	5		
介護の必要な家 族がいる世帯	100%	(100.0)	45.0	15.0	20.0	10.0	25.0	5.0	15.0	15.0		
	20	20	9	3	4	2	5	1	3	3		
一 人 親 と 子	100%	(72.3)	23.5	29.4	20.6	14.7	23.5	17.6	20.6	11.8	2.9	5.9
	47	34	8	10	7	5	8	6	7	4	1	2
夫 婦 のみ	100%	(82.0)	38.2	21.9	28.7	22.5	20.8	21.3	12.4	12.4	5.6	1.7
	217	178	68	39	51	40	37	38	22	22	10	3
介護の必要な家 族がいる世帯	100%	(88.9)	29.2	25.0	29.2	29.2	16.7	45.8	33.3	16.7	16.7	
	27	24	7	6	7	7	4	11	8	4	4	
单 身	100%	(82.0)	35.1	22.8	28.9	36.0	16.7	24.6	14.0	16.7	4.4	11.4
	139	114	40	26	33	41	19	28	16	19	5	13
介護の必要な家 族がいる世帯	100%	(85.7)	8.3	33.3	29.2	41.7	12.5	16.7	33.3	20.8	8.3	8.3
	28	24	2	8	7	10	3	4	8	5	2	2
そ の 他	100%	(71.4)	60.0		20.0	20.0	40.0	20.0	20.0			
	7	5	3		1	1	2	1	1			
小学生以下の子ど もがいる世帯	100%	(50.0)	7.1	42.9	14.3		17.9	3.6	14.3	10.7		
	56	28	2	12	4		5	1	4	3		

5. まちづくりの条件と地域福祉の課題

住民の主体的か参加と協力による地域福祉の活動をすすめ、ひろげるためには、そのための条件が必要である。

今回調査においては、まちづくりを進める上で必要と思われる条件は以下の通りであった。(表Ⅱ-71、表Ⅱ-72)

最も多かったのは「住民相互の日常的な対話交流をひろげる」44.7%、次いで「高齢者や障がい者と子ども・若い人たちとの交流を広げる」31.3%、「身近な地域で住民のくらしや福祉について懇談する機会をつくる・増やす」26.4%といった住民による活動や交流であった。さらに、「行政の施策を分かりやすく住民に知らせる」26.4%、「身近な地域に障がい者や子ども、高齢者などがいつでも利用できる施設を整備する」19%といった行政による条件の整備や広報の課題、「民生委員・ボランティアと自治会の協力・連携を広げる」17%、「自治会が住民の身近なくらしや健康・安全・防犯などの問題に取り組む」16.9%な

疲れ が と れ な い	な タ バ コ が や め られ	眼 が 疲 れ る	から だ が だ る い	これ か ら 先 で あ る な	こ 夜 12 時 多 い に 寝 る	が 物 忘 れ す る こ と	夜 よ く 眠 れ な い	な い 胃 腸 の 調 子 が よ く	朝 、 氣 分 よ く 起 き	イ ラ し や す い	に さ い な こ と が 気	く と 話 す の が お っ	医 者 に 診 て も う	ど こ も 悪 く な い	
														(24.3) 200	
19.3 120	19.1 119	18.9 118	14.8 92	14.6 91	13.5 84	13.5 84	11.6 72	10.1 63	9.1 57	8.3 52	6.7 42	4.7 29	51.8 323	(24.3) 200	
16.0 16	27.0 27	19.0 19	16.0 16	10.0 10	17.0 17	9.0 9	7.0 7	8.0 8	10.0 10	4.0 4	3.0 3	2.0 2	43.0 43	(21.3) 27	
18.2 6	21.2 7	27.3 9	15.2 5	6.1 2	15.2 5	9.1 3	6.1 2	9.1 3	3.0 1				51.5 17	(10.8) 4	
29.3 46	27.4 43	19.7 31	15.9 25	10.2 16	22.9 36	8.3 13	10.2 16	8.9 14	10.2 16	12.1 19	5.1 8	3.2 5	29.9 47	(34.6) 83	
8.6 3	31.4 11	20.0 7	5.7 2	8.6 3	11.4 4	8.6 3			5.7 2		8.6 3	2.9 1		48.6 17	(23.9) 11
10.0 2	30.0 6	20.0 4	5.0 1	15.0 3	10.0 2	15.0 3			5.0 1		15.0 3	5.0 1		65.0 13	
38.2 13	11.8 4	14.7 5	20.6 7	23.5 8	17.6 6	23.5 8	14.7 5	8.8 3	11.8 4	8.8 3	8.8 3	2.9 1	41.2 14	(27.7) 13	
17.4 31	14.0 25	19.7 35	15.7 28	19.7 35	6.7 12	16.3 29	11.8 21	13.5 24	9.6 17	9.0 16	8.4 15	7.9 14	67.4 120	(18.0) 39	
33.3 8	12.5 3	12.5 3	8.3 2	33.3 8	4.2 1	33.3 8	25.0 6	29.2 7	20.8 5	4.2 1	4.2 1	12.5 3	62.5 15	(11.1) 3	
9.6 11	7.9 9	17.5 20	12.3 14	15.8 18	7.9 9	19.3 22	20.2 23	8.8 10	8.8 10	6.1 7	10.5 12	6.1 7	69.3 79	(18.0) 25	
8.3 2	8.3 2	12.5 3	8.3 2	8.3 2	8.3 2	16.7 4	12.5 3	8.3 2	8.3 2	12.5 3	8.3 2		70.8 17	(14.3) 4	
		20.0 1		20.0 1				40.0 2					60.0 3	(28.6) 2	
28.6 8	57.1 16	21.4 6	28.6 8		25.0 7		3.6 1	10.7 3	14.3 4	7.1 2	3.6 1		3.6 1	(50.0) 28	

ど自治会の取組に関すること、「ボランティア活動・地域福祉活動への参加者をもっと増やす」14.7%、「くらし・健康や福祉活動への参加者をもっと増やす」13.9